

令和5年度 第1回

# 丹波篠山市視聴覚ライブラリー運営委員会

日 時：令和5年6月27日（火）19時～

場 所：丹波篠山市立中央図書館 視聴覚ホール

1. 開 会
2. 委嘱状交付
3. 挨拶
4. 自己紹介
5. 正副委員長の選出（互選）
  - ・委員長：
  - ・副委員長：
6. **報告事項**
  - ・令和4年度の事業実績について …P1  
(参考資料) 実績データ 別添
7. **審議事項**
  - ・令和5年度の事業推進について …P6
8. その他
  - ・「丹波篠山動画データベース」の紹介  
(別紙視聴覚ライブラリー関係 HP・SNS 一覧表)
9. 閉 会

## 令和5年度 丹波篠山市視聴覚ライブラリー運営委員会委員

任期：令和5年4月1日～令和7年3月31日

委員 種別	氏 名	所 属 等		備考
1号	しおじり かつべい 塩尻 活平	小中学校代表	今田中学校長 (中学校視聴覚担当代表)	
〃	さかい ひろむ 酒井 宏	小中学校代表	古市小学校長 (小学校視聴覚担当代表)	
2号	ありもと みわ 有本 美和	社会教育団体代表	I C Tサロンサポートスタッフ	
〃	でぐち たつよ 出口 立世	社会教育団体代表	四季の森アートプロモーション	
〃	いわさき ゆみこ 岩崎 裕見子	社会教育団体代表	ビデオサークル「レインボー」	
〃	しんかわ ようこ 新川 曜子	社会教育団体代表	朗読ボランティア「松ぼっくり」	
3号	はた ひろえ 畑 弘恵	知識経験者	指名委員 (篠山城下まちづくり協議会)	
〃	まつもと まさのり 松本 将典	知識経験者	指名委員 (映像企画・制作 スタジオマックス)	
〃	まつもと きよかず 松本 清一	知識経験者	元中学校長	
〃	まつおか みほ 松岡 美穂	知識経験者	まるいのTV司会	

## 報告事項

### 令和4年度の事業実績について

#### 1 視聴覚ライブラリー事業

視聴覚機器の特性を活かした市民の生涯学習の支援・研究を行うとともに、地域の映像記録の制作を支援し、社会教育・学校教育の充実を図った。

【予算現額（当初予算）】3,105千円（3,105千円） 【決算】3,022,647円

運営委員報酬、修繕費（業務用HDVテープデッキ、貸出用ビデオカメラ、公用車車検）  
著作権フリー音源使用料、備品購入費（業務用ビデオカメラ一式、4K画質対応備品）

##### (1) 視聴覚ライブラリー運営委員会の開催

※丹波篠山市視聴覚ライブラリー条例第5条及び第6条に基づく

○第1回：6月24日（金）

協議内容：令和3年度事業実績、令和4年度事業計画進捗等

○第2回：11月22日（火）

協議内容：令和4年度事業実施状況、令和5年度事業計画と予算要求等

##### (2) 編集室の無料開放と撮影・編集、音声の録音やメディア複製の支援

映像編集、メディア複製・変換、録音などが行える編集室を無料で開放し、市民の記録映像をはじめ、教材作成や広報用映像・音声の制作等の支援・指導を行った。

###### 【施設・貸出機器】

編集用パソコン6台、BGM（著作権フリー音楽）、メディア複製機器（DVD、BD）等

○R4利用件数 432件 月平均 36件 (R3 492件、R2 484件)

○新規利用者数 55人 (R3 49人、R2 64人) 【詳細は資料P1, 2, 3】

##### (3) 視聴覚機器の貸し出しと活用支援

ビデオカメラ、プロジェクター、スクリーン、DVD・ブルーレイプレーヤーなどの機器を無料で市民及び団体に貸し出すとともに、操作方法などの助言を行った。

###### 【貸出機器】

ビデオカメラ3台、プロジェクター4台、スクリーン6台、DVDプレーヤー1台  
ブルーレイプレーヤー1台 ほか

○R4貸出件数 371件 月平均 31件 (R3 293件、R2 331件)

○新規利用者数 38人 (R3 34人、R2 41人) 【詳細は資料P1, 2, 4】

**(4) ドキュメンタリー映像及び映像教材の制作**

市役所内各部署から映像制作依頼があり、令和 4 年度は自作視聴覚教材等の制作は見送った。 【詳細は資料 P6】

**【事業の効果】**

令和 3 年度より、編集室の利用件数が 60 件の減少、貸出機材の利用件数が 78 件の増加となりました。市民の利用にあたっては、地域や家族映像の保存・編集等、映像制作を通じた学び、生きがいつくりの支援に役割を果たしています。

市役所内部の制作依頼は「まるいの TV 来年につなげ！デカンショ特別番組」のほか、安定ヨウ素剤の事前配布映像、各課の研修会等、合計 14 件の制作および、支援を行いました。

また、業務用ビデオカメラを更新し、今後随時 4K 画質での地域映像記録を行います。

**2 地域映像配信事業**

蓄積してきた映像をインターネット配信している「丹波篠山動画データベース」のプログラム更新を行った。また、ささやまビデオサークル「レインボー」や地元高校生の協力のもと、地域ニュースや「丹波篠山まるいの TV」の制作に取り組んだ。

【予算現額（当初予算）】 683 千円（683 千円） 【決算】 640,000 円

まるいの TV 司会謝礼、ビデオ収録協力者謝金、動画 DB システム再構築委託事業

**(1) 丹波篠山動画データベース の蓄積・制作・配信**

地域映像ニュースを制作し、配信する映像情報の充実を図った。

5/28 故河合雅雄先生を偲ぶ会 9/22 まちなみアートフェスティバル

3/ 5 4 年ぶりに開催 第 43 回丹波篠山 ABC マラソン他

合計制作本数：16 本（R3 10 本 R2 8 本）

【詳細は資料 P7】

**(2) 丹波篠山動画データベース のシステム再構築**

プログラムのバージョン更新のほか、動画データベース HP のデザインの変更及び検索方法の更新を行った。また、サイト表示のスマートフォン等へのレスポンス Web 表示の対応を行った。 【別紙の QR コードからアクセスできます】

**(3) 丹波篠山まるいの TV の制作・配信**

①市内の地域情報やまちづくりの取り組みなどを「丹波篠山まるいの TV」番組で収録し、最終金曜日にインターネットで配信した。また、地域再生協働員の置塩ひかるさん作成の「【まるてれミニ】ワクワクコーナー」も同チャンネルで配信した。（置塩さんは令和 4 年度で任期満了）【ワクワクコーナー配信本数 5 本】

- ②収録にあたってはビデオサークル「レインボー」や篠山鳳鳴高校放送部の協力を得て実施した。 ○配信回数 12回 ○合計視聴数：10,437件（6,122増・・・デカンショ特別番組 R3 7,434件 R2 4,315件） ○月平均 870回  
○チャンネル登録者数 435人（196増） 【詳細は資料P8】
- ③聴覚障がいのある方などへの対応として、テロップ入り映像の制作を行った。
- ④YouTube以外でも視聴できるよう、市内の宿泊施設、医療施設、老人施設等にDVDを配布して施設内での上映を依頼している。  
○配布箇所： 20施設（市役所市民ホール、丹南支所、小嶋医院、岡本病院他）

#### (4) 映像づくりワークショップの開催

8月28日と9月24日の2回、映像祭実行委員の岩田瑞希さんを講師に「丹波篠山は映像Instagram コンテスト」参加に向けたスマートフォンで映像編集を行うワークショップを開催した。8/28、9/24両日とも5人の参加があった。  
撮影ワークショップ：河原町 編集ワークショップ：丹波篠山市民センター

#### (5) 丹波篠山の伝統行事や祭礼の映像記録制作

8/24 3年ぶりの開催古市地藏盆 10/16 黒岡春日神社秋祭り  
11/6 25年ぶりに復活！細工所の「亥の子」 3/19 110年振りの鉾復活巡行

#### (6) 「Webラジオ」インターネット配信

朗読ボランティアグループが朗読した「市広報丹波篠山」（配信回数12回）や「議会だより」（配信回数4回）の紙面画像付き音声動画を制作・配信した。

#### 【事業の効果】

映像づくりワークショップの実施により、丹波篠山映像祭2023で実施した「丹波篠山は映像Instagram コンテスト」への4人の参加につながりました。新型コロナウイルスの感染状況も落ち着き、徐々に祭礼等が再開され、25年ぶりに復活した「亥の子」や、河原町通での110年ぶりの鉾復活巡行など記録することが出来ました。

### 3 情報化推進事業

パソコン操作に関する市民の相談窓口として「ICTふれあいサロン」を運営し、市民の「ICT力」向上のための支援を行った。

【予算現額（当初予算）】550千円（550千円） 【決算】422,161円

スタッフ協力者謝礼、燃料費、ボランティア保険、備品購入費（Win11 ノートPC）

(1) ICT ふれあいサロンの運営

情報通信に関する市民の相談窓口として「ICT ふれあいサロン」を運営し、市民ボランティアスタッフによるパソコン初心者への操作支援を行った。

【ICT ふれあいサロン】

○R4 利用人数 延べ1,104人 月平均92人 (R3:1013人、R2:876人)

※新規利用者数 33人 (R3:38人、R2:41人)

【詳細は資料P1,5】

【事業の効果】

ICT ふれあいサロンのサポートスタッフは、平成21年4月にボランティアでの運営に切り替わり、令和4年度は、11人(男9、女2)体制での運営となりました。

利用延べ人数は1104人と前年度より91人増加し、その内732人(66.3%)が「サポート必要」での利用でした。「サポート必要」で利用された方の、利用目的達成度は「達成」できた方は545人(76.1%)でした。

実利用者125人(男61、女64)の年齢別詳細は、10代4人、20代1人、30代4人、40代9人、50代9人、60代20人、70代49人、80代28人、90代1人となっており、60歳以上の方の学習のサポートの場となっています。

4 全国アマチュア映像コンテスト事業(丹波篠山映像祭2023事業)

丹波篠山映像祭2023は3年ぶりに集客での通常開催となった。映像コンテスト「第34回丹波篠山映像大賞」では、テーマ「生きる」で映像募集し公開審査を行った。

また、「丹波篠山は映像Instagramコンテスト」ではInstagramを通して丹波篠山の魅力を発信した。

【予算現額(当初予算)】1,000千円(1,000千円) 【決算】1,000,000円

映像祭実行委員会への事業委託料

(1) 丹波篠山映像祭2023の開催

○開催日: 令和5年2月5日(日)

○会場: 四季の森生涯学習センター多目的ホール

○内容: 第34回丹波篠山映像大賞、丹波篠山は映像Instagramコンテスト  
映像大賞表彰式

【来場者数】150人

①第34回丹波篠山映像大賞

- ・作品テーマ 生きる
- ・応募本数 56本（前年比15本減、市内からの応募2本、Web応募36本）
- ・上位4作品

【映像大賞】 伝統を受け継ぐ（柳本喜孝 橋本市）

【兵庫県知事賞】 川の図書館 本が編む物語（熊西叶乃 川崎市）

【丹波篠山市長賞】 検証～被災地からの言づて～

（静岡大成高等学校放送部 静岡市）

【サンテレビジョン賞】 永遠の学舎（西脇北高等学校放送部 西脇市）

- 賞金・副賞
- ・映像大賞大賞 10万円 丹波焼オブジェ
  - ・兵庫県知事賞 5万円 丹波篠山特産品（丹波篠山牛）
  - ・丹波篠山市長賞 2万円 丹波篠山特産品（ぼたん鍋）
  - ・サンテレビジョン賞 2万円 丹波篠山特産品（黒豆・山の芋）

②丹波篠山は映像<sup>ええぞ～</sup>Instagram コンテスト

「丹波篠山はええぞ～」をテーマに丹波篠山の魅力を映像で発信する1分以内の映像を募集した。映像祭当日に事前審査により選出した優秀賞3本を発表し、賞金を授与した。

○参加者数17人（市内10、市外7）

【詳細は資料P9】

**事業の効果**

3年ぶりの通常開催となり、150人（作者6、関係者42含む）の来場があった。

丹波篠山映像大賞では、43人のアマチュア映像作者から56本の応募があり、作品の顕彰や公表を行い「生きる」というテーマから、来場者の心の豊かさを育むなど映像を通じて生きがいづくりに寄与している。

丹波篠山は映像<sup>ええぞ～</sup>Instagram コンテストでは、参加者はスマートフォンなどで気軽に映像づくりに親しみ、また、Instagramに映像を投稿することで丹波篠山の魅力を発信することが出来た。

## 審議事項

### 令和5年度の事業推進について

#### 1 視聴覚ライブラリー事業

視聴覚機器の特性を生かした市民の生涯学習の支援・研究を行うとともに、地域の映像記録の制作を支援し、社会教育・学校教育の充実を図る。

【予算（昨年度予算）】1,178千円（3,105千円 前年度比1,927千円減）

運営委員報酬、著作権フリー音源使用料、修繕費（業務用機器点検、公用車点検ほか）  
消耗品費など

##### (1) 視聴覚ライブラリー運営委員会の開催 **継続**

※丹波篠山市視聴覚ライブラリー条例第5条及び第6条に基づく

開 催： 第1回（6月）、第2回（11月） ○任期：R5.4～R7.3

協議内容： 事業実績、事業計画等について

##### (2) 編集室の無料開放と撮影・編集、音声の録音やメディア複製の支援 **継続**

映像編集、メディア複製・変換、録音などが行える編集室を無料で開放し、市民の記録映像をはじめ、映像・音声等の制作等の支援・指導を行う。

映像制作についてはビデオサークル「レインボー」との連携を図る。

【施設・貸出機器】

編集用パソコン6台、メディア複製機器、著作権フリー音楽等

##### (3) 視聴覚機器の貸し出しと活用支援 **継続**

ビデオカメラ、プロジェクター、スクリーン、ブルーレイプレーヤーなどの機器を無料で貸し出すとともに、操作方法や活用方法の助言を行う。

【貸出機器】

ビデオカメラ3台、プロジェクター4台、スクリーン6台

ブルーレイプレーヤー（DVD再生可能）2台 ほか

##### (4) 映像記録及び映像制作 **継続**

視聴覚ライブラリーとしてのドキュメンタリーなどの映像制作を行う。



## 2 地域映像配信事業

蓄積してきた映像情報をインターネット配信する。ビデオサークル「レインボー」や地元高校生の協力の下、地域ニュースや「丹波篠山まるいのTV」制作に取り組む。

【予算（昨年度予算）】302千円（683千円 前年度比 381千円減）

映像ワークショップ講師謝金、まるいのTV司会謝礼、ビデオ収録協力者謝金  
（新）映像制作委託料【予算 55千円】

### (1) 丹波篠山動画データベースの蓄積・制作・配信 継続

①地域映像ニュースを随時制作し、配信する映像情報の充実を図る

【新】②撮影案件に職員が対応できない場合や、職員数以上の撮影人員が必要な場合などにおいて、映像撮影・編集を市内事業者に委託する

③リニューアルした動画データベースの周知を図る

④保有するDVテープ及びHDVテープについて、再取り込みを行いデータベースに追加する（DVテープ1,668本、HDVテープ351本、DVD397本）

⑤蓄積されている動画データや撮影データ、編集データなどの保存方法を再検討し、担当職員が異動した場合でも業務を引き継げるようルールなどを考案する

### (2) 丹波篠山まるいのTVの制作・配信 継続

①市内の地域情報やまちづくりの取組などを「丹波篠山まるいのTV」として制作し、最終金曜日にYouTubeで配信する。毎月の配信を目標とするが、状況により配信回数を縮減する（目標配信回数）12回／年

②収録は、ビデオサークルレインボーや篠山鳳鳴高校放送部の協力を得て実施する

③YouTube以外でも視聴できるよう、市内の宿泊施設、医療施設、老人施設等にDVDを配布する。また、字幕（テロップ）入りで制作し、配信・配布する

### (3) 丹波篠山の伝統行事や祭礼の映像記録制作 継続

導入した4Kカメラで地域の伝統行事や祭礼を随時撮影し、将来的に縮小・廃止される可能性があるものから優先的に記録していく。

### (4) お便りビデオの配信 継続

ビデオサークル会員等のお便りビデオを動画データベース等で配信する。

### (5) 映像づくりワークショップの開催 継続

7月30日と8月11日の2回、丹波篠山映像祭実行委員長の岩田瑞希さんを講師に、映像祭で実施される「Enjoy 丹波篠山」ショートムービーアワード参加に向けたスマートフォンで映像編集を行うワークショップを開催する。（定員：各回6人）

○撮影ワークショップ：河原町 ○編集ワークショップ：丹波篠山市民センター

(6) 「Web ラジオ」インターネット配信 **継続**

朗読ボランティアグループが朗読した「市広報丹波篠山」（年12回）や「議会だより」（年4回）の紙面画像付き音声動画を制作・配信する。

### 3 情報化推進事業

パソコン操作に関する市民の相談窓口として「ICT ふれあいサロン」を運営し、市民の「ICT 力」向上のための支援を行う。

【予算（昨年度予算）】428 千円（550 千円 前年度比 122 千円減）

スタッフ協力者謝礼、燃料費、ボランティア保険

(1) ICT ふれあいサロンの運営 **継続**

パソコンの基本的操作に関する市民の相談窓口として「ICT ふれあいサロン」を運営し、市民ボランティアスタッフによるパソコン初心者への操作支援を行う。

### 4 全国アマチュア映像コンテスト事業

丹波篠山から全国に向けて、「生きる」というテーマを映像で発信することを目的に、全国アマチュア映像コンテスト「丹波篠山映像大賞」を開催する。また、丹波篠山映像祭実行委員会に事業委託し、令和5年度丹波篠山映像祭において「Enjoy 丹波篠山ショートムービーアワード」を実施する。

【予算（昨年度予算）】1,000 千円(1,000 千円 前年度比 増減なし)

賞金、記念品、協力者謝金、消耗品、丹波篠山映像祭実行委員会への事業委託料など

(1) 第35回丹波篠山映像大賞の運営 **継続**

全国のアマチュア作者から、「生きる」をテーマにした7分以内の映像作品を募集し、丹波篠山映像祭に実施する最終審査会において、事前審査を通過したファイナリスト6作品の公開審査を行い顕彰する。今年度から主催を丹波篠山市、丹波篠山市教育委員会とし、事業運営は視聴覚ライブラリーが行う。

①作品募集期間： 令和5年6月1日～令和5年8月31日（必着）

②審査委員： 西垣吉春、小林和樹（NHK神戸放送局）、久保仁（サンテレビ）

③最終審査会： 11月26日開催の丹波篠山映像祭で実施する

④賞： 映像大賞、兵庫県知事賞、市議会議長賞、市教育長賞各1作品  
ファイナリスト賞2作品

※詳細は、別紙募集要項に記載

(2) **令和5年度丹波篠山映像祭の開催** ええぞ～ **継続**

丹波篠山映像祭は、テーマを「映像でこころ豊かに」とし、素晴らしい作品との出会いや、作品制作における発見、達成感、充実感など、映像を通じた豊かな暮らし、豊かな人づくりを目的に開催する。

丹波篠山市、丹波篠山市教育委員会、丹波篠山映像祭実行委員会の共催とし、映像祭実行委員会に業務委託を行い、丹波篠山映像祭における映像イベント「Enjoy丹波篠山ショートムービーアワード」を実施する。

【委託料】470千円

実行委員報酬、映像大賞募集要項・映像祭チラシ制作費、賞金、動画制作費など

①令和5年度丹波篠山映像祭

開催日：令和5年11月26日（日）

会場：四季の森生涯学習センター多目的ホール

②Enjoy丹波篠山ショートムービーアワード（実行委員会が運営）

丹波篠山の魅力が伝わる映像、丹波篠山で感じた素晴らしい瞬間や楽しい体験を撮影した1分以内の映像作品を募集し、実行委員審査を通過した作品を実行委員が番組に編集して、映像祭1週間前の11月19日にYouTubeで公開するほか、優秀賞受賞者を映像祭内で発表する予定。

作品テーマ：丹波篠山の魅力が伝わる映像、丹波篠山で感じた素晴らしい瞬間や楽しい体験を映像に

作品タイム：30秒～1分以内

応募資格：プロ、アマチュアどなたでも応募可能

応募締切：9月30日（土）

審査基準：丹波篠山の魅力が伝わる構成になっているか、また、独創性があり創意工夫がみられるか

審査発表：事前審査で優秀賞（3点）を選出  
映像祭内で受賞者を発表

賞及び賞金：優秀賞 賞金1万円

○丹波篠山市視聴覚ライブラリー条例

平成11年4月1日

条例第89号

改正 平成15年12月12日条例第57号

(趣旨)

第1条 この条例は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第30条の規定に基づき、視聴覚ライブラリー（以下「ライブラリー」という。）の設置及び管理に関し、必要な事項を定める。

(名称及び位置)

第2条 ライブラリーの名称及び位置は、次のとおりとする。

名称	位置
丹波篠山市視聴覚ライブラリー	丹波篠山市西吹88番地1

(事業)

第3条 ライブラリーは、学校教育及び社会教育における視聴覚教育の振興を図るため、次に掲げる事業を行う。

- (1) 視聴覚機材、教材の購入及び管理並びに貸出しに関すること。
- (2) 視聴覚教育の調査及び研究に関すること。
- (3) 視聴覚教育の指導助言に関すること。
- (4) その他視聴覚教育の振興に関すること。

(職員)

第4条 ライブラリーに館長のほか、必要な職員を置く。

(運営委員会)

第5条 ライブラリーの運営を適正かつ円滑にするため、ライブラリー運営委員会（以下「運営委員会」という。）を置く。

(運営委員)

第6条 運営委員は、10人以内で構成する。

2 運営委員は、次に掲げるものの中から、教育委員会が委嘱する。

- (1) 小・中学校の代表者 2人以内
- (2) 社会教育団体の代表者 4人以内
- (3) 知識経験者 4人以内

3 運営委員の任期は2年とする。ただし、補欠により就任した委員の任期は、前任者の残任期間とする。

4 委員長及び副委員長は、委員の互選により定める。

5 委員長は、運営委員会を代表し会議を主宰する。

6 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときはその職務を代行する。

(諮問事項等)

第7条 運営委員会は、ライブラリーの運営に関し教育委員会の諮問に応じるとともに、意見を述べることができる。

2 教育委員会は、次の事項について運営委員会に諮問する。

- (1) 事業計画に関すること。
- (2) 機材、教材の充実計画に関すること。
- (3) その他必要な事項

(委任)

第8条 この条例に定めるもののほか、ライブラリーの管理運営に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附 則

この条例は、平成11年4月1日から施行する。

附 則 (平成15年12月12日条例第57号)

この条例は、平成16年1月1日から施行する。